



39 創立：1984.7.10／証認：1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目2番22号

ホテルモントレ ラ・スール大阪

電話：06-6937-8171 ファックス：06-6937-8011

例会日：毎週火曜日 12時30分／例会場：ホテルモントレ ラ・スール大阪

会長：津野友邦／幹事：稲垣良二／SAA：須田幸史朗

電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp

ホームページ：https://rc-osaka-tsurumi.jp/



IMAGINE ROTARY

イマジンロータリー

本日の例会

〈第1785回〉 2023年4月18日（火） 本年度第30回

卓 話

近況報告

担当：吉羽会員

●ロータリーソング
それでこそロータリー

●ランチタイムミュージック
さくら

次回の例会

4月25日（火）

次回卓話

次年度に向けての懇親夜例会
イニシエーションスピーチ

担当：浅見会員

前回の報告

PRESIDENT INFORMATION

会長インフォメーション

会長：津野 友邦

4月8日（土）に地区研修・協議会に参加してまいりました。第一部はRI会長テーマや延原次年度ガバナーの地区方針説明や、大阪関西万博関連事業へのRCとしての取り組みの説明などがありました。改めてRCの活動の歴史を感じましたが、1970年 大阪万博では土日を除く全ての日に例会場を設置し、国内外から多くのロータリアンを迎えたそうです（主催クラブの出席会員8,866名、会員家族5,467名、国内ビジター5,767名、国内ゲスト1,543名、外国人は54ヶ国1,737名が参加）。今現在も万博記念公園で名所になっている「平和のバラ園」もRCが建設し、寄贈したものだっことを知りました。

第二部の部門協議会は、SAA・クラブ奉仕・クラブ研修リーダー部門に出席してきました。

クラブ研修リーダーについては、宮里ガバナーが話をされまして、特にMYRotaryのラーニングセンターを活用することや、地区行事に積極的に参加す

ることを強調されていました。

また、クラブが会員や地域にとって価値ある存在であり続けるためにはどうあるべきかを考えるために、クラブの健康チェックで診断してくださいという話もありました。診断内容は例会運営や、奉仕活動、親睦、等々数多くあって、内容としてはどれもとてもであり、わかっているけど取り組めていないことが殆どだと思いました。やはり例会が楽しく、自己研鑽の場であることや、（奉仕）活動を通して思いを共有することが魅力ある強いクラブになるのだろう認識しました。

次年度以降、IMのホストや40周年が立て続けに



ありますので、クラブを強く大きくするのに絶好のタイミングではないかと思いました。

母子の健康月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ 「クラブ存続のための会員増強～次の10年に向けて～」

本日の卓話は赤井会員の今が旬な万博に関する卓話です。受けて頂きありがとうございます。

4/8に地区研修が開催されました、出席された皆さまお疲れさまでした。ロータリーの「大阪・関西万博関連事業」への取り組みが紹介されました。

4/4の理事会での決定事項です。日本ライトハウスへの寄附については行わないこととしました。40周年記念事業について津野会長に実行委員長をお願いすることになりました。

次年度の理事会では、次年度の委員会構成・年間行事が決まりました。

本日、委員会活動報告書をメールにて配布します。記入して事務局へ提出をお願いします。



¥3,000.- 累計 ¥533,000.-

西野会員 長期欠席のおわび

広報・IT・会報・雑誌委員会報告

「ロータリーの友」4月号記事紹介

委員 源 壽美子

表紙の「障がい者アート」シリーズ

今月のイラストレーションは東京都三鷹市「にじの会」の田中大樹さんです。

タイトルは「木の葉」木の葉のまわりに、パズルのピースをはめ込むように、いろんなカタチを散りばめたそうです。

【横組記事】

P.4～5 【RI 会長メッセージ(RI 指定記事)】

ロータリー青少年ネットワークのご紹介

今回はアメリカ・ミシシッピ州ベイセントルイス RC,D6840 RAC 委員長エレクトのアニエラ・カラセドさんの 1 月にアメリカ・フロリダ州オーランドで開催された国際協議会でのスピーチを紹介しています。

P.8～15 【特集 ウクライナレポート】

・戦時下の日常 ROTARY3 月号から

ロシア軍によるウクライナ侵攻から半年が過ぎた 2022 年秋、編集長のウェン・ホアンがウクライナ西部のリビウを訪れ、人々の回復力とロータリーのネットワークの広がりを目の当たりにしました。ポーランド南東部から、ウクライナ国境そしてリビウホテルへと...時系列に紹介されています。

P.16～17 【支援はロータリー財団を通じて】

ウクライナ救援基金・パキスタン洪水救援基金・トルコ・シリア災害救援基金

- 1,寄付をする。パキスタンとウクライナへの支援を目的とする基金を創設
- 2,補助金を活用する。2022 年 3 月に始まった災害救援基金の例

【縦組記事】

P.4～8 2021年9月4日国際ロータリーD2770 財団部門講演要旨

【テーマ、外務省医務官が経験した海外の医療事情】

(医)順和会山王メディカルセンター予防医学/国際医療福祉大学臨床医学研究センター 中井呈子特任教授のお話です。

医務官になったのは 2005年9月、学校を出て 27年、50歳を過ぎてのチャレンジでした。しかも、18年3 月に帰国するまで、医務官13年以外は東京でしか暮らしたことがない人間でした。初任地のセネガルからカルチャーショックの連続です。

P.9～12 【シリーズ この人訪ねて】

阿部真弓さん D2670 今治 RC

- ・木くずもバイオマス燃料に目指すは持続可能な林業
 - ・「私が、やらなきゃ」と父を助け林業に本腰を入れる
- 真弓さん、これからの夢は何ですか?こう聞いたら、しばらくしてから、「父の思いを継ぐことですかね」事業承継は父と娘の夢の継承だと思った。

卓話

2025大阪・関西万博のレガシーと次世代の新規事業

担当: 赤井会員



私の本業はエネルギーマネジメントですが、約3年程前に推薦を受け、2025年大阪関西万博のレガシー協議

メンバーとして推薦されたことから、万博との関わりがはじまりました。

約1年半程の時間をかけて、経産省のメンバーと今回の万博のレガシーとして何を残すべきか、協議してまいりました。物よりも「コト」を残したいという経産省からの方向性を示された上で協議はスタートしたのですが。。。

次世代の国家事業として、どのような素晴らしい知恵や案を私が出したとしても、私個人はもちろん、私の会社には一円の儲けにもならないし、何の権利も持てない。例えば途中で私が死んでも、途中までの案を後任が引き継ぐだけだし、それらの案や権利は国家に属する。。。という指導を受けたところから始まりました。(笑)

そもそも万博とは何か？ 博覧会の定義は国際博覧会条約で定められています。第一条の定義に博覧会とは、名所の如何を問わず、公衆の教育を主たる目的とする催しであると定められています。

世界として初めての万博は1850年のロンドンで行われました。その時の1番の目玉は蒸気汽関車の展示でした。産業革命の真っ只中ですね。

そもそも国際博覧会は、登録博覧会と認定博覧会という2種類に分けられます。登録博覧会とは、今回の万博のような非常に大規模博覧会のことを指します。認定博覧会は比較的小規模な博覧会です。国内で言えば沖縄国際海洋博覧会や国際科学技術博覧会、1985年に行った国際花と緑の博覧会などがそうです。

世界中の人々が参加する国家プロジェクトとして20世紀までは比較的国威発揚や殖産興業が中心でした。21世紀となり、地球的課題と人類社会の持続的な発展がテーマの中心になってきています。例えば、1970年の大阪万博がきっかけで生まれたものの中には、ファミリーレストラン、ケンタッキーフライドチキン、缶コーヒー、フランスパン、ブルガリアヨーグルト、電動自転車、テレビ電話、民間警備、カプセルホテル、左側通行、ピクトグラム、電気自動車、歩く歩道などがあります。

今度の2025年、大阪関西万博におきましては、「命輝く未来社会のデザイン」がテーマです。場所は、夢洲の埋立地をさらに埋め立てて活用する計画です。ここは交通導線が非常に少ないので、何万人という人々をどのように事故なく流入させていくかと言う議論から始まったことも覚えています。

この資料は最終的な結論として、私たちが提案したレガシーとなります。

100年は色あせないビジネスモデルの創出をイメージしました。このビジネスモデルの中央にP H R(パーソナ

ナルヘルスレコード)と呼ばれる個人医療情報と人が生まれ持つ先天的な遺伝子データの解析情報を繋げることによって、人々の健康管理や未病の維持管理、そして地域社会の「食べる・運動する・睡眠」に関わる様々な習慣や商慣習を変革していくことが出来るとイメージしたのです。そこから様々な面白いビジネスモデルを興すことが可能なのではないかとという仮説でした。

今回の万博のテーマである命を輝かせるためには、ある意味、健康や未病の管理というテーマだと捉えることもできます。

そう考えたときに、ゲノム解析、タンパク質、解析、生活改善、再生医療ライフケアDX、などを組み合わせていくことで未来社会のあり方を少しずつ変えていけるような社会構造変革が可能ではないか!?これこそが私たちが提案したレガシーの根本思想になります。

この私どもの提案がベースとなって、現在の万博における様々なフロント企画が形成されていっています。ちなみに、私たちレガシー協議メンバーとフロント万博を協議、決裁するメンバーとの接点はありません。

大阪関西万博の意義としては、いのち輝く未来社会というテーマそのものであり、SDGs目標の達成も大きなテーマの1つになっています。後はソサエティー5.0実現に向けた様々な社会実証実験、そして日本の飛躍というテーマこそが大切です。それらのテーマ実現に向けて3つの大きなコンセプトの柱があります。1つは世界との競争、そしてテーマの実践ということで、様々な実験場を万博の中で企画しています。そしてもう一つの未来社会ショーケースとして、バーチャル万博などの企画があります。

世界の参加状況ですが、参加目標外車150カ国、25国際機関が目標です。現在昨年の10月末の時点で142カ国、8カ国の機関の参加申し出があり、その時点でロシアからの参加も表明されていることはマスコミでも話題になりました。

私としてはロシアの参加も受け入れ、日本が中心になり、うまくバランスを図るような万博開催ができれば、これまでの万博の中で最も評価される万博にするチャンスなのではと密かに期待をしています。

あとよく質問されることの1つとして、民間のパビリオン出店はどこが出店するのかという問いです。飯田グループホールディングス、バンダイナムコホールディングス、パソナグループ、吉本興業ホールディングス、日本ガス協会、電気事業連合会、住友グループ、三菱、そしてパナソニック。こういったところが主な顔ぶれになっているようです。

メインパビリオンは8人のメインプロデューサーがそれぞれの切り口でパビリオンを構成します。それから未来社会のショーケースという企画として、スマートモビリティ一万博と言う概念があります。万博の会場内をどのような導線でスマートにアクセスしていくのか。ロボットの活用や空飛ぶ車は大きな企画の目玉です。

そしてリアル万博だけではないデジタルの万博の開催。つまりバーチャル万博ですね。これはある意味、今回の万博の成否を分ける企画になるかもしれません。

私たちが提案したレガシーが1番率直に表現されている企画が、未来のヘルスケアとして、P H Rの活用と連携。つまりパーソナルヘルスレコードの活用です。この企画は阪大の教授たちをメインに表現されていくとのこと。この協議の中には、現役大学生たちも交えて、WKAZOプロジェクトとして、若者ならではの切り口で、命をどのように考えるか、またヘルスケアデータをどのように活用し、どの提供したいかと言う議論も活発に行われ、万博という機会を大規模実証実験ができる機会とみなして、日々日々協議されているようです。あと、竹を活用した商材の提案が以前ありましたが、放置竹林の問題解決も地球環境のテーマになり得るという意味で、提案があるようです。

万博のレガシー協議を通じて、自分の事業に活かしていかうとして考えたことが遺伝子解析というテーマです。これで日本一を目指すということです。

人の遺伝子解析における成功は、まだたった20年前の出来事です。

現在では、人間の遺伝子解析にはスーパーコンピューターで丸2日間、つまり48時間かかります。その費用は原価で60万円～80万円程です。

20年前人間の遺伝子解析に費やした時間は、なんと13年です。その解析にかかった費用は3000億円です。凄い数字です。それと同時に、人間の進化のスプードの凄さを感じます。

私はゲノム事業を医療以外のところに焦点を合わせています。医療への貢献をしていながら、ビジネスチャンスとしては、医療関係以外の方が非常に市場も大きく、チャンスも大きなものがあると考えています。ゲノム解析は、人々の様々な動機付け要因になり得ると思っているのです。

これからの未来では、自分たちの子供とアインシュタインの能力や遺伝子を比べることも可能ですし、大谷翔平くんの運動機能と比較も可能になってくると思います。もちろん我々の祖先がどこからどのように移動してきたのか、そして今どのように我々が存在しているのか。歴史上の偉人との関係性も図ることが出来るようになるでしょう。もしくはもしかしたら未来の小学生の夏休みの自由研究の課題としては、藤井聡太さんとの将棋の才能の違いを分析してまとめてみなさいというような宿題が出る時代になっている可能性もあります。

かわいいワンちゃんネコちゃんとは、遺伝子が60%程一致します。虫の遺伝子も僕達の遺伝子に入っています。実はシーラカンスの遺伝子も中に入ってます。今は顔の分析も推測できてしまう時代になります。

このような現実から考えていくと、数千年の歴史をもつ占いや手相、顔相といったものは、実は遺伝子との関係を読んでいこうとするものだったという仮説が成り立つと思います。これからは遺伝子の分析で結婚相性とか、男女の相性をみるようにも活用されていくでしょう。遺伝子事業の可能性は無限大だと考えております。

ご清聴ありがとうございました。

☀ 出席報告		4月11日【1784回】	
会員数	25名	ビジター	1名
(内出席規定免除	9名)	ゲスト	0名
出席会員	16名中 13名	出席総数	20名
出席免除会員	9名中 6名	前々回	3/28 M/U 3名
出席率	19/22 86.36%	修正出席率	86.36%

本日のロータリーソング

それでこそロータリー

どこで合っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー